

[www.jwing.net](http://www.jwing.net)  
[mail@jwing.net](mailto:mail@jwing.net)

# ハワイ特集



# 新広告キャンペーン「Beautiful Hawai'i」始動 「旅は、世界を美しくできる。」日本独自に展開



ミツエ・ヴァーレイ日本支局長

ハワイ州観光局 (HTJ) は、ハワイの島々の特徴や本質的なハワイの魅力伝える新広告キャンペーン「Beautiful Hawai'i (ビューティフルハワイ)」を2023年6月から開始した。ハワイの自然や文化を守り、住民の生活と旅行者の体験をより多様で豊かなものにする「レスポンシブルツーリズム」の考え方を実践する観光局のプロモーション「マラマハワイ」の一環によるキャンペーンで、「旅は、世界を美しくできる。」というコンセプトと共に、ハワイの美しい自然や伝統文化を通して、人生を豊かにするハワイ旅の魅力を発信していく。キャンペーンの目的について、日本支局長のミツエ・ヴァーレイ氏(写真)に話を伺った。



「Beautiful Hawai'i」キャンペーン・ビジュアル

## リカバリーへ向け、「分かりやすい」キャンペーン「マラマハワイ」がベース

新広告キャンペーン「Beautiful Hawai'i」について、ヴァーレイ氏は、「マーケットが戻るなか、これまでの『マラマハワイ』で行ってきた啓発活動に加え、本格的なプロモーションとして、分かりやすいキャンペーンが必要だと考えた」と、実施に至る経緯について説明した。

また、キャンペーンの狙いについて、「ハワイに来てもらう、という前に、旅の

すばらしさ、自分自身を高める旅の良さを訴求したもの」と説明。さらに「人と自然、人と人の関係性を良くすることで観光地の環境を改善できるということ、つまり旅は世界をより良く変えることができるということ伝えたい」と語り、「地球にやさしい旅」として以前より展開する「マラマハワイ」の傘下としてキャンペーンを実施していく考えを示した。

## 各島のビジュアルを用意 素材の利用も今後可能に

キャンペーンでは、オアフ島、ハワイ島、マウイ島、カウアイ島の主要4島編と、4島をまとめた総合編の5本の動画を交通広告やデジタル、SNSで露出。動画は今年5月に撮影、まずは総合編から公開、6月以降4島編の動画を順次公開していく。また新たな画像も多数用意、「アセットとして、旅行会社の方々にも広く利用できるようにしたい」と語る。

「Beautiful Hawai'i」総合編動画 (YouTube)



<https://youtu.be/NyIKVo2gh1M>



## 「ハワイエキスポ」4年ぶりに渋谷で開催 ハワイが「先導役」に

一方、新広告キャンペーンの発表に合わせ、観光局ではBtoCイベント「HAWAII EXPO 2023 (ハワイエキスポ)」(開催日:5月27~28日/開催地:渋谷ヒカリエホール)を開催した。4年ぶりの開催で、2日間で1万2000人以上の来場者を集め、盛況となった。

ハワイエキスポについて、ヴァーレイ氏は「海外旅行への機運がまだまだ上がらないなか、このタイミングでハワイからパートナーの皆様と一緒に対面で最新情報を提供し、ハワイのチームの一体感を見て頂くことが大切」と述べ、開催の意義を強調。「Beautiful Hawai'i」と共に、ハワイが「先導役」として、海外旅行需要を盛り上げていく姿勢を見せた。

ハワイエキスポは、2015年よりスタートしたBtoCイベントで、現地からホテ

ルやアトラクション、航空会社や旅行会社、レンタカー、物販、飲食などの企業がブースを出展。2018年は福岡、2019年は札幌で開催、その後新型コロナウイルスの影響で対面での開催を見合わせていたが、今年は4年ぶり、東京では6年ぶりに以前のスタイルでの開催となった。

今年には現地企業を含め53社50ブースが出展。会場内に大型ステージを設け、ハワイアンミュージック、フラなどのパフォーマンスやトークイベントを行った。ほかにもワークショップや没入体験コーナーも提供。メディア向け内覧会の場には、開催地の渋谷区の長谷部健区長が挨拶に立ち、「ハワイエキスポの開催を機に、今後渋谷区とハワイが近づけば」と述べ、今後の関係構築へ向け、前向きな姿勢を見せた。



BtoCイベント「HAWAII EXPO 2023 (ハワイエキスポ)」の様子。左中は渋谷区 長谷部健 区長



今年4月にホノルルで行われたBtoBイベント「ジャパンサミット」の様子



## 4月にBtoB向け「ジャパンサミット」開催 双方向交流促進へ向け、観光庁、JATAと協力

ハワイ州観光局は、今年4月に現地ホノルルでBtoBイベント「ジャパンサミット」を開催、日本から82名が参加している。ヴァーレイ氏は「BtoBに向けたジャパンサミットに続き、BtoCのイベントとして、ハワイエキスポをこのタイミングで開催できて光栄に思う」とコメント。

また「4月以降、観光庁や日本旅行業協会(JATA)がアウトバウンド促進へ向け、本格的に動き出している」と説明。日本とハワイ間の「双方向交流」へ向け、こうしたジャパンサミットやハワイエキスポなどのイベントを通じて、「できる限りサポートしていきたい」と述べた。

## 年末までにコロナ前5割回復目指す ウェディング、ゴルフを絡めた展開も

日本からハワイへの旅行需要は、回復傾向にある。ヴァーレイ氏は「今年の年始はコロナ前の2019年比で20%、ゴールデンウィークには30%まで戻ってきた。旅行会社からのヒヤリングでは、秋以降の予約が好調で、秋には40%、年末には50%まで戻していきたい（いずれも人数ベース）」と意欲を見せ、直近の夏の需要の取り込みも意識した「このタイミングでキャンペーンを開始することが重要」と強調した。

また、今後はウェディングや、隣島需要の喚起を目的としたゴルフプロモーションも検討。「まずは『Beautiful Hawai'i』キャンペーンで旅の位置づけを訴求していく。現段階でターゲットングしても結果にならないと考えた」と語り、現キャンペーンの次の段階としてプロモーションを実施する計画だ。

今回のハワイエキスポでは、ウェディ



ハワイエキスポでのウェディング会社のエリア。ヴァーレイ氏は、「円安や物価高でもハワイへ来ていただける潜在性の高い層をターゲットにしていきたい」と述べ、ウェディング、ゴルフ、さらには主力のファミリー層への取り込みを行うべく、旅行会社と協力しながら「安全で価値ある旅行が実現できるハワイの良さを訴求したい」とアピールした。



© Hawaii Tourism Authority (HTA) / Ben Ono



ウェディングと、隣島需要喚起を目的としたゴルフに注力（イメージ）

© Hawaii Tourism Authority (HTA) / John Hook

## 「姉妹都市サミット」を7月に開催 双方間交流に寄与

日本とハワイ間の「双方向交流」促進の一環として、7月27・28日に「姉妹都市サミット」がホノルルで開催される。当日は、「ビジネスと経済（パイプラインの拡大）」「サステイナブル・エネルギー（サステナビリティへのパワーアップ）」「サステイナブル・ツーリズム（適正なバランスの追求）」「教育（グローバルな人材の育成）」の4つを議題に話し合われる。

ヴァーレイ氏は「姉妹提携の交流は教



育旅行やインセンティブ、団体において大きな需要を生み出してくれる。姉妹提携の関係を活かした双方向交流の拡充を図りたい」と意欲を見せる。

### 日本-ハワイ間の姉妹提携

#### (ハワイ州)

福岡県、沖縄県、広島県、愛媛県、北海道、山口県

#### (ホノルル市郡)

広島市、那覇市、白浜町、佐伯市、宇和島市、長岡市、茅ヶ崎市、境町、宇佐市、金武町、江戸川区、三浦市

#### (ハワイ郡)

大島町、名護市、湯梨浜市、渋川市、洲本市、久米島町

#### (マウイ郡)

宮古島市、八丈町、福山市

#### (カウアイ郡)

石垣市、周防大島町、守山市、いわき市

## 旅行会社サポートへ引き続き注力 情報提供、人材育成、販促支援

旅行会社へのサポートにも引き続き力を入れる考え。ヴァーレイ氏は、「情報提供」「人材育成」「旅行会社、航空会社の戦略、タイミングに合わせた販促支援」の3つを強化項目として挙げる。

情報提供では、「新しいハワイをしっかりと伝えることが大切」と強調。安心安全な点や、マラマハワイといった面を打ち出していく。また人材育成については、4月のジャパンサミットでビーチクリーンなど、マラマハワイに繋がる体験

を実践。「実際に体験しないと分からない。販売する側も勉強が必要」と本腰を入れる。

販促支援においては、「旅行会社それぞれに戦略があり、観光局としてそれをしっかり理解した上で、販促支援を行ってほしい」と説明。パッケージツアーやダイナミックパッケージ、FIT、団体旅行など、「どのタイミングで何をサポートしていくのかを見極め、販促支援を行っていく」意向だ。



今年4月の「ジャパンサミット」でもビーチクリーンを実践



### 週刊ウイングトラベル「ハワイ特集」2023 春夏

WING Travel Weekly "Hawaii Special" 2023 Spring/Summer

#### 目次 Contents

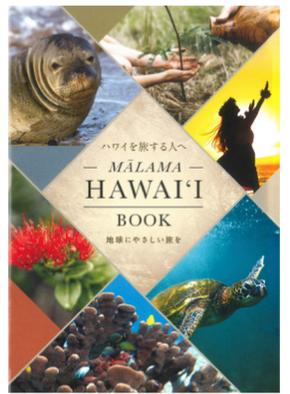
ハワイ州観光局 (HTJ)	Hawai'i Tourism Japan (HTJ)	2-3 p
マラマハワイ	Mālama Hawai'i	4-5 p
日本航空	Japan Airlines	6 p
ザ・リッツ・カールトン・レジデンス ワイキキビーチ	The Ritz-Carlton Residences, Waikiki Beach	6 p
ヒルトン・ハワイ	HILTON HAWAII	7 p
ハワイ州観光局	Hawai'i Tourism Japan (HTJ)	8 p

# ハワイを旅する人へ、地球にやさしい旅を Mālama Hawai'i

旅行者の一人ひとりが旅先で責任を持って行動する「責任ある観光“レスポンシブル・ツーリズム”」が、世界中で求められている。ハワイ州観光局では、レスポンシブル・ツーリズムのハワイ版スローガン「Mālama Hawai'i “マラマハワイ”」を掲げ、ハワイが持つ伝統文化や美しい自然環境を守っていくため、さまざまな旅行者にわかりやすく、ハワイを思いやる心「マラマ（ハワイ語で「思いやる」という意味）」を伝えていく活動をしている。これらをまとめたA5判冊子「Mālama Hawai'i BOOK」では、旅行者それぞれができるアクションや、ハワイの観光関連パートナーのマラマな取り組みなどについて紹介。ハワイ旅行者に対し、引き続き啓発活動をおこなっていく。



Mālama Hawai'i BOOK eブック版リンク



## 海 Ocean

### 海の生き物たちの楽園、美しい海を取り戻そう

美しい海やサンゴ礁が日焼け止めやゴミなどが原因で危機的な状況に。ハワイの海を守るため、海洋生物との推奨距離や海に入る前のルールを知る。

！ 海洋生物との距離に注意

#### Protecting Marine Animals

##### ～絶滅危惧種の宝庫とも称されるハワイ～

ハワイには絶滅危惧種とされる動植物が503種類も確認されている（2015年米国調査）。ハワイ州では、海洋生物との推奨距離を定めることで、ウミガメやイルカ、クジラ、モンクシールを保護しており、違反した場合は、ハワイ州法や連邦法のもと、罰金が科せられる。例えば、ハワイの神聖な生き物「ホヌ」（ウミガメ）は、ハワイを生息地とし、ここを産卵地としている。ビーチで発見しても最低3mの距離を保って、やさしく見守りたい。



© Island of Hawaii Visitors Bureau (IHVB) Tyler Schmitt

！ 海に入る前に、必ず標識を確認

#### Ocean Safety

##### ～ハワイのビーチを楽しむために～



穏やかに見える海も、「高波注意」(HIGH SURF)や「クラゲ発生中」(JELLY FISH)などの標識が提示されていることがある。また、必ずライフガードがいるビーチで泳ぐことも大切。天気予報で天気の変化もチェックし、ハワイの美しい海やプールを安全に楽しみたい。

！ サンゴに優しい日焼け止めを選択

#### Saving Coral Reef

##### ～ハワイの海とサンゴの関係～

ハワイの美しい海をキレイに保つ大切な役割を果たしているサンゴ礁。しかし、環境汚染や温暖化の影響で年々減少し、白化が問題となっている。ハワイでは、サンゴ礁への有害成分を含む日焼け止めの流通が禁止に。海や海洋動物に有害な成分の入っていないミネラルの日焼け止めを使おう。



！ 現地のボランティア活動に参加

#### Joining Beach Clean Activities

##### ～ハワイでビーチクリーンに参加してみよう！～



魚や海洋生物などを傷つけないためにプラスチックゴミを回収する非営利団体主催のビーチクリーン活動は、旅行者の参加も歓迎している。



## エコ活動 Ecology

### 環境に配慮した行動と共に、旅を楽しもう

ハワイでは、使い捨てプラスチック製品削減のため、2020年から、有料・無料に関係なくレジ袋の配布が禁止に。マイバックやマイボトル、カトラリーの持参やハワイメイドのエコグッズで、旅行中は環境に配慮した取り組み、脱プラスチックライフなど、楽しみながらエコ活を実施したい。

！ 無駄やゴミをゼロにする取り組み

#### Preserving Nature Environment

##### ～Zero Waste (ゼロ・ウェイスト) を目指して～

海に流れ込んだプラスチックは、世界で年間約800トンともいわれ、絶滅危惧種を含む700種類もの生物を傷つけ命を奪っている。ハワイでもWaste=“無駄”や“ゴミ”を、Zero=“ゼロ”にしていこうという取り組みが広がっている。

#### For Eco Friendly

ハワイではエコフレンドリーな商品がたくさん販売されている。ハワイならではのおしゃれなデザインの製品を生活に取り入れて。

#### 天然原料で作られるフードラップ

##### ～Bee's Cotton Wrap～

ビーワックス(蜂)を使用して作られた、身体にも環境にもやさしいラップ。



#### ハワイ限定デザインも

##### ～My Bottle～

マイボトルを持ち歩くことは、年間約167本のペットボトル削減に貢献できる。

#### サステナブル素材から

##### 生まれた包装紙

##### ～Wrappily～

リサイクル可能な新聞を作る印刷機を使って作られた、見た目も可愛い包装紙。

#### 「Keep it Simple」

ハンドソープや台所用洗剤、トイレ用洗剤などを計り売り。マイボトルに詰めて購入することができる。フレッシュアパやピカケ・タンジェリンといった、ハワイならではの香りから選ぶのもよい。

#### Sustainability

##### 海深914mから湧き出る海洋深層水を活用！

##### ハワイ島の海洋資源を学べる製塩所を巡るツアー

ハワイ島にある「コナソルト・ファーム」では、ハワイの地形文化や環境問題を学びつつ、天然塩の生成過程を見学・試食ができるファームツアーを開催。ショップの売上の1%は、NPO団体・パパハナウモクアケア海洋ゴミ事業計画へ寄付されている。



© IHVB/Kirk Lee Aeder

#### Made in Hawai'i

##### 本物の“ハワイ産”を示す、メイド・イン・ハワイの認証プログラム

ハワイ州産業経済開発観光局やハワイ州農務局は、ハワイ産の食材や加工品をブランド化。ハワイで、ハワイの人々によって生産された本物の“ハワイ産”であることを認証するさまざまなプログラムを設けている。ローカルのスーパーなどに行った際には、ぜひ認証マークにも注目。



#### LEED Certification

##### 環境保全に力を入れている「LEED認証」を得た施設を利用する

LEED認証とは、米国グリーンビルディング協会が、省エネと環境に配慮した建築や敷地利用を評価する都市の環境性能評価システムのこと。ハワイでは、オアフ島コオリナの「アウラニ・ディズニー・リゾート&スパ コオリナ・ハワイ」や「ホクラニ・ワイキキ」などがLEED認証を受け、環境保全を考慮したハワイにやさしい宿泊施設に認定されている。



© Hawaii Tourism Authority (HTA) Tor Johnson



カルチャー  
Culture

大切に伝承されてきたハワイの文化を体験

フラ、ウクレレ、レイ、ハワイアンキルト、伝統工芸など、古代ハワイアンから大切に守られ伝承されてきたハワイ特有の文化。現地体験できるカルチャープログラムも多い。「体験」することで歴史や風土を五感で感じることができる。

！ハワイアンミュージックで文化に触れる

Enjoying Hawaiian Music

～ハワイは耳からでも文化に触れることができる～

テクノロジーの進化と異文化に影響を受け続けてきたハワイアンミュージック。アップテンポな曲から、ゆったりしたものまでさまざま。ハワイ語の歌詞は、ハワイの歴史と文化が重なり合っていており、島々のコミュニティに深く根付いている。耳でハワイを感じることで、より一層マラマハワイの精神が、湧き出てくるにちがいない。



© HTA / Tor Johnson

Experience Hawaiian Lū'au

～ハワイアンルアウショー～

ハワイの伝統料理とともに、ハワイアンミュージックやフラを楽しみながらハワイアンカルチャーを学ぶことができる「ハワイアンルアウショー」。ルアウとはハワイ語で「宴」を意味し、ハワイ王国時代に王族たちが記念日に大切な人を呼び、伝統的な料理を楽しんでいたことに由来している。アロハスピリットが心に染みわたること間違いなしの体験だ。



Hawaiian Culture

ハワイで行われている  
多種多様なカルチャープログラム

一度は身に着けてみたい！  
レイメイキングのレッスン

アロハスピリットが込められた、伝統工芸の体験プログラムは人気。ホテルやショッピングセンターなどで生花を使った本場のレイ作り体験に参加可能だ。



「ハワイと言えば」の定番  
ウクレレ体験で音楽文化に触れる

ハワイアンミュージックに欠かせない楽器、ウクレレ。様々な場所で癒しの音色を聴きながら、体験ができる。

本場でフラを体験し  
アロハの心を肌で感じる

フラを知ることはハワイを知ること。フラレッスンやフラショーを見て、ぜひ体感を。



ボランティア  
Volunteer

旅の行程にボランティア活動を

ハワイ全域で400以上あると言われているフィッシュポンド(養魚池)の修復や、ビーチクリーン活動など、旅行者も参加可能なボランティアイベントがある。地元の方たちと同じ想いで繋がる、普通の観光では得られない特別な時間に。

Native Hawaiian Fishpond

～古代ハワイアンの聖なる養魚池「フィッシュポンド」を復活～

約800年前に古代ハワイアンが作り上げたと言われているオアフ島のフィッシュポンド(養魚池)を保護している民間NPO団体「パエパエ・オ・ヘエイア」。2015年に石垣の一部を修復し、養魚池としての機能を回復。復興を進めている。



© HTA / Heather Goodman

Beach Clean Activities

～ローカルと一緒にビーチクリーニング～

「サステイナブル・コーストラインズ・ハワイ」の主な活動はビーチでの清掃活動。誰でも参加できる。また教育プログラムや地域啓発キャンペーンを企画運営。献身的なスタッフと一般の意欲的なボランティアによって支えられており、地域に根付いた非営利団体だ。



旅行者にできること

ハワイ語で「真心、モラル、適切、正しい」など、たくさんの意味をもつ「Pono (ポノ)」という言葉。地元の方が大切に守っている自然環境や文化、習慣に敬意を払い、正しい行動をとることができる旅行者を「ポノ・トラベラー」と称し、旅行者ができることを知って、レスポンシブル・ツーリズムを実践するポノ・トラベラーとなることを推奨していく。

© HTA / Heather Goodman

ハワイ州観光局 マラマハワイ公式サイト  
https://www.allhawaii.jp/malamahawaii/

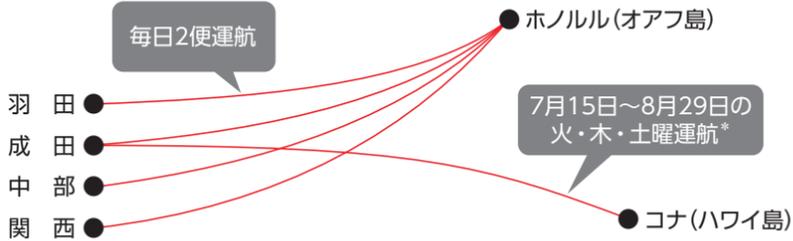


# 羽田-ホノルル線、毎日2便運航 成田-コナ線\*も運航予定



## NETWORK & SCHEDULE

成田、関西、中部からホノルルへも好評運航中



※スケジュールは予告なしに変更になる場合があります。  
 ※2023年6月26日現在の情報です。  
 \*2023年7月15日~8月29日の火・木・土運航。ただし、コナ発は7月15日、8月29日運休。7月16日~8月30日運航。

## SPORTS EVENTS

2つのスポーツイベントに協賛 JAL便利用特典も



**ホノルルセンチュリーライド2023**  
サイクリストから子供まで、  
オアフの自然を全身で味わう「ファンライド」

9月24日(日)

JAL便利用特典

日本-ホノルル間(往復)の自転車運搬が無料



**2023 HONOLULU MARATHON**  
初心者からベテランまで、誰もが参加できる  
制限時間のないマラソン大会

12月10日(日)

JAL便利用特典

ゴール後に使える「JALテント」を用意

## JALOALO CARD

アプリ版JALOALOカードで  
ハワイの観光や移動が便利に

JALでは日本からハワイへ、JAL便往復の個人運賃、  
またはマイル利用による特典航空券の利用客を対象  
に、ハワイの観光や移動に便利なデジタルカード  
「JALOALOカード」を提供している。

※コードシェア便は対象外  
※表示にはJALアプリが必要



エコノミークラス、プレミアムエコノミークラスの利用客は黄色いJALOALOカード(左)、ビジネスクラスの利用客は赤色のJALOALOカードALII(右)を用意。

### JALOALOカードでお得に

**1 観光、ショッピングに便利な  
Hi Bus(ハイバス)が滞在中  
乗り放題!**

主要ホテルとアラモアナセンターを結ぶ  
便利な「アラモアナルート」に加え、赤  
色のJALOALOカードALIIカードなら、  
ダイヤモンドヘッドやKCCファーマー  
ズマーケット(曜日限定)を回る「ダイヤ  
モンドヘッドルート」も乗り放題。



**2 観光・空港送迎が割引/定額料金で利用可能**



チャーターズ・タクシーとロボーツ・  
ハワイ(送迎バス)の空港-ホ  
テル間、ホテル-人気観光スポ  
ット間の送迎サービスをチップ込み  
の定額料金で利用可能。

詳しい情報は「[www.jal.co.jp/hawaii/](http://www.jal.co.jp/hawaii/)」まで

2023年6月26日現在の情報です。

## ザ・リッツ・カールトン・レジデンス ワイキキビーチ

The Ritz-Carlton Residences, Waikiki Beach

# 全客室に浄水器を設置 持続可能な未来に向けた取り組みの一環

マリオット・グループの最高級ブランド「ザ・リッツ・カールトン」の世界初のレジデンスタイプのホテル「ザ・リッツ・カールトン・レジデンス ワイキキビーチ」では、ハワイと世界の持続可能な未来に向けた取り組みの一環として、6月8日の世界海洋デーに合わせて、全室に浄水器を設置した。

ザ・リッツ・カールトン・レジデンスワイキキビーチは、部屋を所有しているオーナーが、その部屋を旅行者に貸し出すレジデンススタイル。まるで「ハワイに住んでいる」ように旅を実現するのが特徴だ。

すべてのホテル客室とスイートに台所とキッチンネットついており、そのキッチンのシンク下にアンダーシンク型の浄水システムを設置。利用客が自宅のような快適さで蛇口から直接浄水を利用することができる。さらに、新たにアルミニウムの水筒をウェルカムアメニティとして提供し、外出時にはこの浄水器の水を水筒に補充して持ち歩ける仕組みを整えた。



こうした取り組みは、受賞歴のあるレジデンスリゾートとして初めて、そしてハワイで唯一のホテルとなる。

浄水器の設置により、すべてのホテル利用客が便利に過ごせることに加え、年間30万本以上の使い捨てプラスチックボトルを削減することが可能となり、年間15万ドルの節約とプラスチックボトルの削減による温室効果ガス排出量の大幅な削減を実現した。

さらに、リゾート内の公共エリアには複数の水補給ステーションも設置されており、そこでも浄水された水を補充することが可能だ。

### 安心・安全、そして上質な滞在 3年ぶりの海外旅行需要に対応

今後の旅のスタイルとしてさらに求められる安心・安全に配慮した滞在。同ホテルは、全室キッチン付きのため、お気に入りの食材やお惣菜、ワインを購入して、同行者だけの空間でゆったりと食事をとるといった自宅のような過ごし方ができる。



ホテルの1階には、「ディーン&デルーカ」や、スーパーマーケット「Island Country Market」があるので買い出しも便利。またホテル内には、モダン・フレンチ「La Vie(ラ・ヴィ)」、カジュアル・イタリアン「Quiora(キオラ)」、高級鮨「すし匠」など、ダイニングも豊富だ。もちろんカラカウア通りもすぐなので、アクティブに過ごしたい場合もすぐにアクセスできる。

レジデンスタイプでありながら、ホテルとしてのサービスも万全で、ハウスキーパー、ルームサービスはもちろん、スパも完備。さらにホテル8階には、ファミリープールとアダルトプールがあり、

22時まで営業。滞在客がホテルに戻った後も安心してリゾート滞在を楽しむことができる(一部プールの改修予定あり)。

ホテル各部署には日本語が話せるスタッフが配置しており、チェックインから滞在中のサービス、チェックアウトまで、世界で認められた高品質の「ザ・リッツ・カールトン」ブランドの高品質なサービスを堪能できる。

### 団体需要にも高い競争力 全室オーシャンビューで利用しやすい

同ホテルでは日本人旅行者からの要望が多いツインベッドを25室まで確約、またクオリティーの高いソファベッドとキングベッドを組み合わせて利用することにより、全室ツインに対応できるため、団体のニーズにより応えやすい。また、すべての客室がオーシャンビュー。ワイキキの他のホテルでは団体利用の際に



「部屋指定なし」の契約の場合、シティビューの客室が割当てられることもあるため、他のホテルのオーシャンビューを指定した場合の価格と比較すると競争力が高い。

さらに団体向けにはウェルカムギフトとして、レイ、おしぼり、ウェルカムドリンクを提供。リゾートフィーが無料というのも、団体オーガナイザーや旅行会社にとっては、顧客への大きなアピールポイントだ。

### 宴会場とレストランの利用で 充実した受け入れ体制

ホテル内の宴会場「ザ・ホライズン・テラス(I & II)」は、8人掛けで11卓(計88人)まで収容することが可能(スクリーンを設置した場合は10卓(計80人)。さらに隣接する屋外スペース「ホライズン・ラナイ」には3卓を追加設置でき、美しいサンセットの景色を眺めながらカクテルパーティーを行うこともできる。さらにホテル内のレストラン「Quiora(キオラ)」の貸し切り利用や、宴会場とのコンビネーションによる利用もできる(レストランの団体利用は稼働状況によるので要問合せ)。

### ザ・リッツ・カールトン・レジデンス ワイキキビーチ

公式ホームページ: <https://www.ritzcarlton.com/jp/hotels/hawaii/waikiki>

東京予約センター: 0120-853-201

団体・営業に関するお問い合わせ: 03-6807-1163 船岡まで

# ワイキキの人気ホテルとして輝きを増す ヒルトン・ハワイアン・ビレッジがさらに進化

世界的なホテルブランドのヒルトンがハワイで展開するのがヒルトン・ハワイの3ホテル。いずれもオアフ島やハワイ島で日本の旅行業界や日本人旅行者にとってなくてはならないホテルとして人気を集めている。コロナ禍を経てその輝きは変わらない。それどころか、積極的なリノベーションや新施設のオープンでますます魅力を増している。

## ヒルトン・ハワイアン・ビレッジ・ワイキキ・ビーチ・リゾート

### 人気度調査で断トツのワイキキ人気No.1

ヒルトン・ハワイアン・ビレッジ・ワイキキ・ビーチ・リゾートは、まだ日本人旅行者が途絶えていた2021年からすでに米国内旅行者に人気のホテルとして賑わいが回復。全米ベストビーチ調査で2014年にNo.1を獲得したホテル前のデューク・カハナモク・ビーチが、美しい白砂の景観や海水のきれいさ、良好なアクセス等が評価されて、直近の調査でもNo.2(ハワイではNo.1)に選ばれたこともホテル人気を加速。ワイキキ主要6ホテルを対象とした調査では、人気度、稼働率とも他ホテルを20ポイント以上引き離して断トツのNo.1を獲得している。

滞在中はホテル内で過ごすのを好む米国人旅行者に人気を博している理由の一つが付帯施設の充実ぶり。ホテル内にはキッズ・プールを含む種類違いのプールが5つあり、さらに海水を引き込んだラグーンやホテル前のビーチで各種マリンスポーツが楽しめる点がライバルホテルにない魅力となっている。

食の魅力が多彩な点も人気に直結している。直営レストランだけでも、バリ・オーシャンフロント(朝食・ディナー)、



「バリ・オーシャンフロント」のディナー

トロピックス・バー&グリル(朝食・ランチ・ディナー)、ハウ・ツリー・バー(プールサイドで軽食とドリンクを提供)、タパ・バー(ライブ・エンターテインメント付き)、ミックスバー(ザ・アライ2階プールサイド)の5つがある。

また個性ある飲食店がホテルに出店しており、行列ができる人気アイスクリームショップ「ラバーツ・ハワイ」や「フレスコ・イタリアン・レストラン」、「ラウンド・テーブル・ピザ」、軽食の「CJ's ニューヨークスタイル・デリ」、ハワイ生まれのシーフードレストラン「ブルーウォーター・シュリンプ&シーフード」、かつて紅花の名で親しまれていた「アオキ鉄板焼き」などが味を競っている。さらに5月末から和朝食ビュッフェを開始した「初花」では朝から焼き魚、煮物、すくい豆腐、おかゆ、漬物など日本の味を楽しむ。

加えてホテル直営のフードトラック(日本のキッチンカー)が新たにサービスを開始予定で、朝・昼(金曜のみ夜も)



「初花」の和朝食ビュッフェ



ホテル直営のフードトラック



ホテル前のデューク・カハナモク・ビーチ

で営業。メニューは定期的に入れ替わるが最初はコリアンスタイルのタコス等を中心に、朝はマラサダ(ハワイ風ドーナツ)を提供する。

ホテル全体で取り組むサステナブルツーリズムの一環としてハワイ州観光局の「マラマハワイ」にも積極的に協力。宿泊とマラマ体験を合わせたパッケージプランを用意。5連泊を条件に、1泊無料の特典に加え、クアアロア・ランチのタロイモ畑での農作業体験ができるマラマ体験ツアーを無料提供している。



マラマ体験ツアーを無料提供

リノベーションに関しては、タパ・タワーでの作業が3階から14階までの最終工程を迎え、今年末までには全室の作業



タパ・タワーのリノベーションは年内に完了

が完了する。次はレインボー・タワーを改装する計画で来年開始し1年半かけて作業する。改装としては破格の1部屋10万ドルを投じる大掛かりなものになる予定だ。また、旧ダイヤモンドヘッド・ホワイトビーチ・チャペルを100人収容の宴会場に改装しており、ラグーンと海を見晴らせてホテル主催の花火(9月までは夏時間のため8:00スタート)も間近に見られる宴会場に生まれ変わる予定だ。

なおヒルトン・ハワイアン・ビレッジ・ワイキキ・ビーチ・リゾートでは新棟の建設計画も進んでおりカリアタワー横に用地を購入済み。2025年に着工し2027年頃の完成の見込みで、36階建て515室の新タワーが誕生する予定だ。

## ダブルツリー・バイ・ヒルトン・アラナ・ワイキキ・ビーチ

### 日系総支配人の誕生で日本からの団体受入がより積極化

今年の4月、ダブルツリー・バイ・ヒルトン・アラナ・ワイキキ・ビーチの総支配人にハワイ生まれの日系人であるショーン・オノ氏が就任した。オノ総支配人は前職ではシェラトン・ワイキキでルームディレクターを務めており、日本の旅行業界にもお馴染みの人物。新総支配人の就任は日本市場への取り組み強化の一環でもあり、同ホテルではすでに3月から日本人団体向けの新プランも用意している。

主として小団体や研修旅行、研修旅行などの50~100人程度のグループ受け入れを想定している。宴会・会議場は最大



ショーン・オノ氏

200名以上を収容可能で、100人程度の中規模会場のほか、30~40人収容の小規模会場も6つある。

徒歩5分程度で行くことができるヒルトン・ハワイアン・ビレッジ前のビーチやラグーンといった施設を利用できるのはヒルトン・リゾート・ハワイの一員としての強みの一つとなっている。

なお6月中にはホテルの外装刷新を完了し、外観が生まれ変わりイメージが一新される予定だ。



宴会・会議場は最大200名以上を収容可能

### 早目の手配で客室確保は問題なし

米国本土客は一足先に回復していたのに対し、日本人客は今年3月頃からようやく回復。日本市場の存在感の低下が懸念されるが、ヒルトン・ハワイの松田光裕営業本部長は日本側の不安を一蹴。「日本人客は部屋へのこだわりが強く高いカテゴリーの客室を利用してくれるため、

ありがたい存在。米国人の国内旅行需要も下火に向かう傾向で日本人客の1日も早い本格回復が期待されている」と指摘する。また米国人客の予約時期は旅行3カ月前が中心であるのに対し、日本人客は3~6カ月前の予約が多く「早目の予約をすれば確実に客室を押さえられる」と説明。

さらに日本で広まる「ハワイ物価高」説については「物

価高を象徴する話として『ハワイではラーメン1杯2500円もする』といったエピソードが語られるが、ハワイでは地元の食を楽しんでもらえば納得してもらえるはず」と主張する。アサイボールやロコモコ丼、ポケ丼などは、格別に安いわけではないものの「間違いなく満足度はハワイで食べるラーメンより上のはず」とし、ハワイ旅行と単純な物価比較は切り離して考えてほしいと訴える。

## ヒルトン・ワイコロア・ビレッジ

### 新フィットネスセンターや新テラスもオープン

このほどテニスコート併設のプロショップ跡地に新フィットネスセンターが誕生。米国で大人気のサブスク式オンライン・フィットネスサービス、Peloton(ペロトン)のオリジナル・トレーニングマシンが設置され、宿泊客はお試しのサブスク会員としてオリジナルマシンを利用できる。このほかセンター内のピラティス/ヨガスタジオ、サウナ等も利用できる。

またホテルを代表するレストラン、カムエラ・プロビジョン・カンパニー(KPC)に隣接する屋外スペースに、新たにKPCラナイというカクテルや軽食が楽しめるスペースを新設。また、テラス席は、140人まで収容可能で太平洋を一望できサンセットを眺めながらディナーを楽しめる。

また週3日(火・木・土)の朝8時から、ドルフィンラグーンのエイルカたちがラグーンへ移動して来てドルフィンジャンプなどを披露する「ドルフィン・サンライズ・スプラッシュ」がスタート。ラ



カムエラ・プロビジョン・カンパニーのテラス席



ドルフィン・サンライズ・スプラッシュ ドラゴンボートゲームで遊ぶ2人乗りドラゴンボートやフローティングカバナもデビューした。

休止中だったビッグ・アイランド・ブレイクファスト・アット・ウォーター・エッジの朝食が6月16日から再開されたほか、レストラン「ヌイ・イタリアン」のルームデリバリー(17:00~21:45)も開始され、ピザやパスタ等を部屋で味わえるようになった。

地球にやさしい旅を

自然を、大地を、人間を  
想いやる心、愛する心。

Mālama - マラマ

ハワイが、そして世界が

この言葉に、この優しさに包まれたなら  
この地球はもっと美しくなれるはず。

この星のための合言葉。

— MĀLAMA —  
HAWAII‘I

ハワイ州観光局 マラマハワイ情報サイト

<https://www.allhawaii.jp/malamahawaii>



マラマとはハワイの言葉で“思いやりの心”。何十年後も、何百年後も  
ハワイの素晴らしい伝統文化や美しい自然環境を守っていくために、  
住民と旅行者が思いやりの心で地球にやさしい旅を。それが、マラマ  
ハワイの精神です。

HAWAII TOURISM

JAPAN

ハワイ州観光局